

2017 アートマイル国際交流壁画共同制作プロジェクト 報告書

日本学校名 [赤穂市立原小学校] 担当教諭名 [江崎 優也] (5年1組 9名 6年1組 6名)

相手国・地域 [ナミビア]

海外学校名 [Kameru Primary Eco School] 担当教諭名 [山本 由紀子(JICA)]

■実施教科・時間数について教えてください。

	教科	単元名	時間数
アートマイルに関連した 実施教科・時間数	総合的な学習の時間	心をつなごうアートマイル	29

■作品に込めた想いについて教えてください。

題 (テーマ)	Culture and Tradition
メッセージ (相手と想いを合わせて 世界に発信したいメッセージ)	各国には、はるか昔から受け継いできた伝統的な文化がある。その文化をお互いに知り、認め合い、尊重し合うことで、世界が一つになる。また、自分の国の文化に誇りを持ち、周りの国に伝えていくことも大切である。



■今回の取り組みの成果と課題はどういった点でしょうか？

成 果	課 題
<ul style="list-style-type: none"> ・自分の国の文化を紹介するために、深く調べることで、何気なく知っていただけのものが、素晴らしいものであることに気付いた。 ・友達と協働して作品を作り上げることで、達成感や充実感を味わうことができた。 	<ul style="list-style-type: none"> ・絵を描き上げ、送ってから相手国との交流が薄くなってしまった。本校内では、さらに調べ活動等を進めていたので、それをフォーラム等で交流すればよかった。 ・「世界に発信したいメッセージ」や「テーマ」について、もっと児童が話し合い、考える時間をとりたい。

■アートマイルに取り組む前と比べて相手の国・地域や世界に対して意識はどう変わりましたか？

児童生徒の意識の変化	教師の意識の変化
<ul style="list-style-type: none"> ・外国の文化についての発表を聞き、自分たちでもさらに調べ活動を行うことで、外国の人たちも自国の文化に誇りを持ち、受け継いできていることがわかった。 ・外国やその国の人たちをイメージだけで判断することが間違っていると気付き、様々な人と関りを深めていきたいという思いをもつことができた。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ほとんど知らない国だったが、子どもたちと調べ活動をする中で、もっと知りたい、交流したいと思うようになった。また、こちらの発表を聞いている児童の姿、日本の文化に興味をもって質問する児童の姿を見て、関わり合うことの大切さと喜びを感じた。

■主な活動の流れを教えてください。

場面	時期	活動内容	児童生徒の反応	実施教科等
出会い 自己紹介	9月 10月	フォーラムで自己紹介(動画) フォーラムで学校紹介(動画)	・相手の自己紹介を見ながら、自分との共通点があること、学校や町が日本とは全然違うことにおどろいていた。	総合2
共有 テーマ学習	11月	・テーマに沿って、自分の国について調べる。 ・自分の調べたことをパワーポイントでまとめる。	・日本の文化について詳しく調べた。 ・相手に伝わりやすいように写真や注釈を入れ、まとめた。	総合4
融合 想いを形に ・メッセージ ・壁画デザイン	11月	・構図を考え、相手校に提案する。	・今後、各国の文化をどうしていくのかを考え、それを世界へのメッセージとした。 ・相手校とフォーラムで相談しながら、構図を決定した。	総合3
創造 壁画制作	12月	・アート班とプレゼント班に分かれ、下絵を描いたり、プレゼントを作ったりする。 ・全員で絵に色を塗る。	・カメル小学校の子どもに喜んでもらおうと、自分が担当した絵を一生懸命描いた。また、日本の文化を取り入れた遊び道具を自作した。	総合11
評価 振り返り 自己評価	1月 ～ 3月	・3学期には日本・ナミビア・その他の国の文化について詳しく調べ、発表する。 ・アートマイルでついた力、外国について考えたことを文章でまとめる。	・自分の国の文化の素晴らしさに気付いた。 ・他国も、自分たちと同じように自国の文化に誇りを持ち、大切に守っていることに気付いた。	総合9

■アートマイルでついた力について教えてください。

評価 (5:とてもついた 4:ついた 3:どちらともいえない 2:あまりつかなかった 1:つかなかった)

学習目標・つきたい力	評価	先生が手応えを感じた場面・理由
自文化を理解する力	4	・自国の文化について調べるうちに、「すごい」「知らなかった」という声が上がった。また、大切にしていきたいという意見もでた。
異文化を理解する力	5	・他国の文化をもっと知りたいという声が多かった。また、食文化等、自分には合わないものでも、それを認めることが大切だと感じていた。
情報活用能力 (収集・まとめ・発信)	4	・インターネット、本等を活用し、パワーポイントにまとめた。その際、どうすれば相手に伝わるかを考え、工夫しながらまとめることができた。
コミュニケーション力 (双方向・共感・英語)	3	・自己紹介以外、英語を使う機会がなかった。しかし、学校で出た意見を、相手国に伝えたいという思いは大きかった。
批判的に思考する力 (客観的・論理的視点)	3	・話し合い活動を通して、「文化はなぜ守っていかなければいけないのか」ということについて客観的に考えることができた。
主体的に考え行動する力	4	・自分が担当になった絵、プレゼントに関して、各々で調べ、制作することができた。
他者と協働する力 (学級内・海外の相手)	5	・友達と話し合い、関わり合いながら活動できた。また、友だちのいいところや頑張りも認めることができた。
想いを言葉や形にする力 (メッセージ作成・壁画制作)	4	・メッセージをどのような絵で表せばよいかを考え、話し合うことができた。
評価する力 (作品の鑑賞・学習の自己評価)	4	・自分自身の成長を振り返ることができた。また、その力を今後の学校生活でも生かしたいという思いをもった。